

■ 感想

- 基礎的などころから臨床で応用すべき内容まであり、たいへん勉強になりました。（多数）
- 貴重なセミナーありがとうございました。（多数）
- 明日からの業務に活かしていこうと思います。（多数）
- 臨床現場で悩む場面が解決できるような内容が多く、有意義でした。（多数）
- 久々の現地開催ありがとうございました。（多数）
- 1年に1回はこのような基礎的内容を見直すセミナーを続けてほしいです。
- 毎回セミナーに参加しています。基本的な内容も含めたセミナーになっているため復習も兼ねて受講でき、とても助かります。
- 抗菌薬適正使用の復習に役立つ内容でした。
- オリジナルのスライドが多く、大変わかりやすい内容でした。
- 講演内容は非常に分かりやすかった。
- 講演のテーマとその内容、事例提示の症例については、概ね適切であったと思います。
- それぞれのテーマの中で **pit fall** を踏まえた内容でとても勉強になりました。
- 感染症全般について広い視野からの概念を理解できました。
- **Update** な文献を知ることができました。
- セミナー1 コマが 30 分で、長すぎないのでとても良いと思います。
- 肺炎、胆管、カテーテル関連、軟部組織など実臨床で必要になる、病名を議題にさせていただいてありがたいです。薬剤師としては一時的でも症例が悪化する提案はし難い感情があるので、主治医とよくコミュニケーションを取る必要があると感じました。
- エキスパートの先生の中でも、初動の抗生剤の選択の仕方は様々あることを実感しました。そのため、初めに投与期間等の設定を決め、2 手目、3 手目を想定して治療を開始することが重要であるように思いました。
- ガイドラインと異なったとしても経験的治療として経験をもとに判断する大切さも学びました。私としてはまずはガイドラインや一般的な抗菌薬選択の考え方を学んでいきたいと思います。
- 基本的な抗菌薬の選択から、経験した上で、さらに次の臨床に生かすということを教えていただきました。なぜ、この抗菌薬が使われていたのかも分かり、これから、最適な選択を提案していきたいと思いました。
- 日々の業務の中で、抗菌薬を選択する上で、非常に参考になる内容でした。
- 自施設では、**broad** に選択、長期投与になる症例も散見され、今後 **AST** 活動として参考になるご講演でした。
- 畑先生の胆管炎胆のう炎の違いの解説が非常にわかりやすく、抗菌薬投与にむけた考え方を病態をふまえた理解ができました。
- 肝胆道系感染症の抗菌薬治療では、**CEZ**、**CMZ** でも大半の症例がカバーできる事を知りました。当

院では「何でもかんでも TAZ/PIPC」が処方されているため、見直しが必要と感じました。以降のセッションでも、AST としてのアプローチの方法が学べ、大変参考になりました。参加して良かったです。

- 高田先生の、カテーテル感染症については、特に実務に関わる期会も多く、基礎からの情報整理、薬剤師だけではなく他職種と協力が必要なカテーテル留置についてもさらなる自己研鑽の糧にさせていただける内容でした。
- 用量調節に留意すべき患者像は非常に役立ちました。
- 抗菌薬の投与での ARC が理解できました。